

成願寺

令和六年 年末の会説教

人生は手前持ち、豊かな心を持つて

静岡県利生寺 住職 尾村眞道

みなさま、こんにちは。お寒い中、納めの観音様のご祈禱へのご参拝ありがとうございます。本日は成願寺様の若方丈より、納めの観音様の日にお話をと声をかけていただきました。お時間を頂戴しまして、話を進めてまいりたいと思います。



静岡県利生寺 住職
尾村眞道老師

季 報

146

令和7年12月18日
(2025年)

目 次
「人生は手前持ち、豊かな心を持つて」尾村眞道…1
中野たから幼稚園「未就園児子育て支援」について…6
山内短信…7
…7

納めの観音・年末の会のお知らせ



十二月十八日（木）午後二時より、観音堂に於いて納めの観音様の縁日法要を執り行います。

法要後は書院にて、宮城県通大寺ご住職金田諦應老師にお説教をいただきます。その後、軽食懇親会を予定。どなたでも（檀家以外の方も）ご参加いただけます。

会費 三五〇〇円

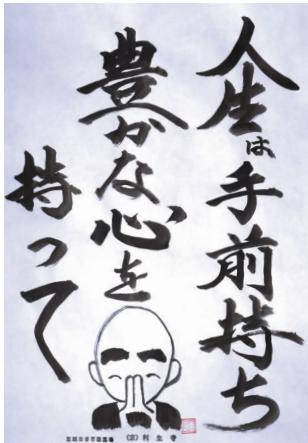
*軽食の注文数の確定のため、予約をお願いします。

除夜の鐘・参加者予約受付中（一打千円・予約優先）
大晦日 十一時開門—十一時半打ち始め
引き続き、本堂にて新年祈禱をお勤めします。
鐘撞きを予約された方のみご参列いただけます。

発行 多宝山成願寺
〒 164-0012 東京都
中野区本町 2-26-6
電話 03-3372-2711

普段、「観音様、観音様」とお呼びしているわけですが、正式には觀世音菩薩または觀自在菩薩といいます。世の中の人々の声を聞いて、または音を聞いて見極める、これが「觀」という字。私たちが困った時にさまざまな姿に形をえて救つてくださる。「あの人は觀音様のような人だ」と昔はよく言つたものです。觀音様には男女、性別がなくて、ある時は女性に見えたり、ある時は男性に見えたりする。さまざまなお姿で私たちをお救いくださるわけです。

觀音様の広大無辺な慈悲と、包み込むような優しさに憧れるよう、昔は「あの方は觀音様のようないい人だ」と言つたのかもしれませんね。では、觀音様の慈悲にかなうように生きるには、どうしたら良いのでしょうか。



今日はこの白板に、私が書いて参りました小さなポスターを貼つていただきました。私たちも誰しも、こ

の世に命を授かって生まれてくることができました。でも、二百年も三百年も生きられるわけではないですね。必ずお迎えが来ます。そして誰しも、若い時がございました。私にもそういう時があつたのですよ。みんなにもございましたよね。こんなにシワもなかつたなど思います。でもね、シワがあるつてことは幸せなんだと、自分の手を見て思う。こんなにシワができるまで生きてくることができた。

若いつもりでおりましたのに、みんな必ずおじいさん、おばあさんになります。諸行無常、一期一会。同じことは二度と繰り返されません。それが常なんですね。朝お会いできて、夕方にまた会えるかななど思つておりましたのに、会えないこともございます。耳に聞こえてくる事件は、かわいそうにと思つても他人事です。でも、いつもの道をただ歩いているだけで刺されてしまう。暴走した車に轢かれてしまうといった痛ましい事件事故が、たびたび起きてします。そんなこと、自分には起こりませんか。残念ですが起こり得るんです。

ですから、私たちが今日ここでこうしてお会いできたこと、それをありがたいと心から思うことができれば、それは觀音様が導いてくださった、皆様の

心からの笑顔だと思います。今日一日を大事に生きる。それが、観音様の慈悲にかなう生き方かと思うわけでございます。

慣れることのできない「便利」

年を取りますと、つい昔は良かつたなつて話をしがちです。でもみなさん、今は手元にスマホ、携帯電話をお持ちです。わざわざ小銭やカードを用意して公衆電話を探す必要はないですね。三十年、四十年前は考えられなかつた。自動車に電話がついて、ショルダータイプになつて、それが今や片手で持つことができる。便利ですね。

その便利な機械が手元にござりますと、振り込むんですよ。または変なところをタップしてしまう。「いやいや、私は騙されませんよ」とみなさん思われる。でも、そういう方に限つて騙されます。

私も「消防の方から來た」という人から高い消火器を一本も買ってしまいまして、家族に「ホームセンターに行けばもつと安価で売つている」と叱られましたが後の祭りでした。返品をお願いしようとしたが電話をしましたが、繋がりませんでした。「消防から來た」と言わされて、お寺は火も使いますし、何

も疑うことなく買つてしまつたわけです。私ももちろん、「騙されません」と思つていたわけですが、どこでどう騙されるかわからないですね。

スマホの話に戻りますと、私のスマホの位置情報は息子が管理しています。私がどこにいるのか、すぐ分かつてしまつ。ですから、夜は切つておいてくれつて（笑）。いま、笑つておられる方は安心なんですが、なんでだらうつて思う方もいらっしゃる。年を取つてまいりますと、ちょっとしたことが分からなくなります。ご自宅で、携帯があつて、テレビがあつて、電灯も扇風機もエアコンも、みんなリモコンで操作します。みなさん、たまに別のリモコンを持つて操作しようとすることございませんか。「テレビが映らない…」。それ、エアコンのだよ」と家族からため息まじりに言われてしまう。

世の中は、どんどんどんどん「便利」になる。ですけども、すでについていけない「便利」がたくさんござりますよね。年を取りますと、どんなに「便利」と言われても使いこなせない。教わつてやつてみることは大事とは思いますが、無理して「便利」に合はせるることもないですね。慣れない「便利」を使って騙されたりでもしたら、元も子もないのです。

内面にある優しい心

私たちは、誰しも両親のもとに生まれてきました。でも、もう少しお金がある家に生まれたかったとか、そんなことを思つた経験がおありかと思います。親の方も、もう少し言うことを聞く子が、もう少し利口な子が生まれてくれればよかつたのに、と思つています。

あと十セント背が高ければ俳優やモデルにでもなつていたのに。または足が速ければ、オリンピックに出演して金メダルの一つや二つもらつていたのに。みなさん笑うけども、そうでしょ、無理でしょ？ とんびは鷹を生まないんですよ。鯉は瀧を登つて龍になると言いますが、なるわけがない。鯉は鯉、龍は龍。花に例えても、タンポポはタンポポの花で美しい。スミレはスミレの花で美しい。スミレがいくらタンポポになりたいと願つても、タンポポにはなれないですね。

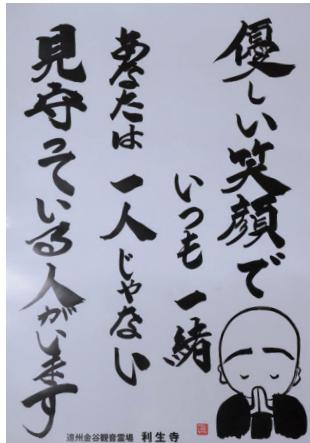
では、どうしたらしいのでしよう。それは、自分の良さに気がつくということ。自分の内面にある優しさとか、思いやりとか、そういう心に気がつくこと。そうしたことが、私は人生で一番大切なことなので

はないかと思うのです。
何気ない、いつもの生活がどれほどありがたいか、みなさんお考えになつたことはござりますか。普段は気がつかなくともいいんです。でも本日を機会に、心に刻んでほしいと思います。生きている、命があるということは、とてもありがたいことです。まずそういうことは、自分的心のなかに思いやりや優しさが溢れ、感謝の気持ちがうまれてきます。

私たちは、一人で生きているわけではありません。「おかげさまで」という言葉がございますが、これは誰か特定の人のおかげ、ということだけではありません。目に見えないものを含めたあらゆるもの、森羅万象すべての集まりによって、私たちの命はつながつてているのです。

「若い人の世話にはなりたくない」とおっしゃる方がいます。みなさんもそう思われますか。私の場合は同じようなことを妻に言いました。そうしましたら、「お父さんが生きてるということは、それだけでもう大変なんだよ」と言われてしましました。でも続きもございまして「大変だけど、お父さんが元気で動き回つていることが幸せなの」。

お互いが助け合つて、支え合わなければ、生きて



滋賀県立金谷観音寺 利生寺

いかれません。妻にはすでに長いこと世話になつてゐるのに、「世話にはなりたくない」なんて言つてしまつたから「もう大変なんだよ」と返されてしまいました。みなさんも、誰かのお世話にもうどくくなつてゐるのです。

人生の「主人公」としてどう生きるのか

仏教の言葉に「主人公」というのがございます。みなさん一人一人が人生の「主人公」です。人と比べての自分ではないのです。

中学までは義務教育。本来は義務教育で勉強は終わりです。あとは、もつと勉強をしたい人が高校へ行く。でも、誰々があの高校へ行く、誰々も同じ高校。みんなが行くみたいだから私もそうする。それでは生活に身が入らないですよね。それよりも、自分に何ができるのか、自分に自信を持てるものを見つけ

る方がいいのではないかと思います。うちのほうでは、グランドゴルフとかゲートボールを楽しみでやつての方が多いんですよ。そうして、仲間と一緒に夢中になれることがあるということも、とても素晴らしいですね。自分をどう生かすのか。それには、まずは人様を生かすことを考えてみてください。自分一人で生きているわけではありませんから、自分さえ良ければという感覚でいますと、必ず失敗します。人様と信頼関係を築くことが大切ですね。

みなさんの周りにも、可愛らしいお年寄りの方でいらっしゃいますよね。ああいう可愛らしいおばあさんになりたいね、可愛らしいおじいさんになりたいね。でも、どうしたらなれるのでしょうか。

外見を美しくすることも良いと思いますが、内面からにじみ出るのが可愛らしいということかと思います。自分の優しい心が、顔に出てくるのです。悪いことを考えている人、これもやっぱり顔に出来ますよ。若い頃は爽やかであった政治家の先生、だんだん人相が悪くなってきた、なんてことがあるかもしれません。どんなに力を持とうが、お金を持とうが、思いやりのある優しい心を持つていれば、可愛らしさになつて顔に出るので。豊かな心を持つことが

できれば、おのずとお顔が、また雰囲気が変わってきます。ケチな心を持つて生きていますと、ケチな人生しか送ることができません。人生は全て手前持ち。だからこそ、観音様のような慈悲深さ、寄り添う優しさ思いやり。そういう心とともに生きていたいだきたいということを、今日はみなさんにお伝えしたいのです。

これからますます寒くなります。みなさんも体調にお気をつけて、温かいものを飲んで、ほどほどに運動をして、お風呂で暖まって、布団には湯たんぽを入れてお過ごしください。

それと、成願寺様に参拝されて、少しでも心をほっこりとしてお過ごしいただいて、また来る年が、みなさんにとっても良い年でありますように祈念いたしまして、お話を終わらせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

道州金谷観音堂 利生 寺

合掌



また、二歳児とその保護者を対象とした、幼稚園入園前年の親子教室、「みみちゃんクラス」も開催中。触れ合い遊びや体操、制作活動などを通して、親子で一緒に楽しい時間を過ごしています。参加希望の方は、中野たから幼稚園、〇三（三三七四）三六一三までお問い合わせください。

中野たから幼稚園「未就園児子育て支援」について
中野たから幼稚園では、三階ホールと園庭を開放して、未就園（〇～二歳児）の親子のみなさんが一緒に好きな遊びを楽しんだり、保護者同士の交流・情報交換ができる場所として「親子でホールで遊ぼう会」を二月まで開催しています。お子様は、広いホールや園庭で遊ぶ楽しさ、他の子との関わり、遊んでくれる担当の先生の存在などから、幼稚園って楽しいところを感じているようです。保護者の皆様も、教室や園庭から聞こえる在園児の元気な様子や園舎を知つていただく機会となっています。

山内短信

◎各々に寄進の報告



・本堂正面の香台を檀家総代の黒田泰男様、檀家の桑田千恵子様がご寄進くださいました。それ追善供養の為書きをさせていただきました。

・高根家ご一同様がご当家墓地改修を記念して、境内整備の一部費用をご寄進くださいました。

・五十嵐淳様がケルヒャー社の高圧洗浄機をご寄付くださいました。境内清掃に役立たせていただきました。

◎「中野坂上お散歩MAP」に紹介される

成願寺より徒歩約八分、青梅街道沿い（中央二一五二一きりやビル第一）に南インドマイソールの身体に優しい家庭料理と飲み物が味わえる「Mysore Cafe（マイソールカフェ）」（営業時間・十一時～十八時／定休日・ムーンデイ（新月、満月の日））が

あります。同店がオリジナルで制作された「中野坂上お散歩MAP」に成願寺をご紹介いただきました。中野坂上の行つてみたくなるお店やスポットをイラストつきでぎつりと紹介されています。「中野坂上お散歩MAP」が欲しい方は、「Mysore Cafe」へ。雰囲気の良い店内で、評判のチャイヤイノハレコーヒーを楽しんで。



◎「あけぼの」に掲載される

去る四月二十五日、NTT労働組合中央本部情報宣伝部の高島美咲氏が旧防空壕の取材に来山。機関誌『あけぼの』（四四一号）の巻末グラビア・大人の散歩道に「空襲の記憶を後世に伝える遺構たち」として四頁にわたって紹介いただきました。閲覧希望の方



は寺務所まで。

◎大般若祈禱会のお知らせ



懇親会の様子



転読の様子

令和八年一月十一日（日）、午後一時より大般若祈禱会を開修。偈文を迫力いっぱいに唱えながら、転読という作法で起てる功德の風を参列の皆様にお送りします。どなたでも祈禱を受け付けます。家内安全・身体健全・商売繁盛等、願文を添えてお申し込みください。

◎「初観音」のお知らせ

令和八年一月十八日（日）

午後二時より、新年初の観音様の祈禱会を行います。お札をお授けします。一月十五日までに願文を添えてお申し込みください。ご祈祷の後はお汁粉で懇親会であります。会費二五〇〇円



上=大法要後、本堂に並んだ卒塔婆
左=井戸端の古卒塔婆の納所

卒塔婆は、申し込みをされたが自身またはご家族でお墓に建てましよう。古くなつた卒塔婆は、ご自身またはご家族で井戸端の納所までお下げください。手が必要な際はお声がけください。

◎卒塔婆供養についてのお願い

年回法要や春秋の彼岸会、盂蘭盆会の際にお申し込みいただく卒塔婆は、ご先祖さまや亡き人を思い、供養のためにお墓に建立いたします。

一見卒塔婆　よういんそとば
永離二悪道　ようりさんまくどう
何况建立者　がきょうこうりゆうしゃひしおあんらうしゃ
必生安樂国　ひぜいあんらくこく

これは塔婆供養の偈文です。卒塔婆を一度でも見ることができれば、永遠に三悪道（地獄・餓鬼・畜生）の苦しみから離れることができます。徳が説かれています。